

<大英帝国史、オーストラリア、帝国主義、植民地>

オンライン商品【リサーチ・ソース】ご案内

2019年5月リリース!



## Research Source Series Empire Studies 大英帝国史研究

「リサーチ・ソース：大英帝国史研究」は、18世紀から20世紀前半までの、大英帝国の歴史をものがたる一次資料を集成したものです。本コレクションには、イギリスの植民地政策と統治に関する資料や、イギリスの植民地における生活に関する情報、帝国とジェンダーの関係性、人種や階級に関する資料などが含まれています。

英国連邦会議の資料のほか、イギリスを訪れた黒人やアジア人による記録も収録されています。また、オーストラリアの資料も充実しています。政府文書や公的文書から、個人文書や日記、希少な定期刊行物、議会議事録等の資料からなります。

### 【収録資料一例】

- 英国国立公文書館所蔵の、先住民の女性のおかれた状況や、大英帝国内における女性への選挙権の拡大に関する文書資料。
- オーストラリアのニュー・サウス・ウェールズ州のシドニー植民地の設立にも深くかかわったダンカン・キャンベル(Duncan Campbell)の書簡集と個人文書や、同州の最後の総督を務めたラクラン・マクウォリー(Lachlan Macquarie, 1762-1824)の個人文書。
- 18世紀から19世紀のジャマイカのプランテーションにおける生活に関連する文書

### 【主なトピック】

大英帝国、工業と帝国主義、人種やジェンダー、参政権や女性の権利、政策と統治、植民地の生活、囚人の植民地への輸送、旅行記等



### 【価格体系】

FTEにより価格が異なります。

**FTEは人文社会科学系学部の学生数(学部生+院生)より算出いたします。**

価格は概算参考価格(税抜)です。

FTE <5,000 (Band 0)	FTE 5,001-15,000 (Band 1,2)	FTE 15,001< (Band 3)
お問い合わせ下さい	お問い合わせ下さい	お問い合わせ下さい

- ◇ 完全買い切り・アクセスフィー無し ◇バックアップHDD提供可能(有償) ◇ 同時アクセス無制限
- ◇ 無料トライアル 受付中!(機関・個人ともに1か月間)

注:原資料の状態により非常に読みにくい資料もございますので、ご了承下さいますようお願い申し上げます。

(Adam Matthew Digital, GBR/日本総代理店:丸善雄松堂)

- 表示価格は概算参考価格(税抜)です。概算参考価格にはライセンス料と手数料が含まれます。掲載製品はリバースチャージ対象製品です。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由による価格の変更や掲載タイトルの変更につきましては、予めご了承の程お願い申し上げます。
- 正式なお見積もりは、別途ご用命ください。

## Research Source Series: **Empire Studies**

### 【収録コレクション明細】

本データベースは、以下のマイクロフィルム版(199 リール)をデジタル化し、一堂に検索、閲覧できるようにしたものです。

※マイクロ版の供給は、2017 年をもって終了となりました。

No	コレクション名	パート名(カッコ内はマイクロ版リール数)	原本所蔵機関
1	Empire and Commonwealth: Archives of the Royal Commonwealth Society ケンブリッジ大学所蔵 英国王立連邦協会文書	Part 1: The Colour Question in Imperial Policy, C.1830-1939 (25 リール) 人種問題関連資料 1830 年頃から 1939 年までの先住民との関係、民族と帝国の問題、最初期の文化的接触、民族と文化的交流などに関する資料で、植民地開拓者や先住民、政策立案者らの文書類からなる。	The Cambridge University Library
2		Part 2: Imperial and Commonwealth Conferences, 1887-1955 (18 リール) 英国帝国議会と英国連邦会議記録 英国連邦会議は、1887 年に第一回の植民地会議として開催され、その後名称を変えながら続いた。議事録、報告書、会議文書、会議に関連する文書や雑誌記事、希少な印刷物等を収録。	
3	The Empire Writes Back 黒人、アジア人が見たイギリス	Part 2: Black and Asian Visitors to Britain, 1734-1942 (16 リール) 18 世紀から 20 世紀にかけて、船員、水夫や使用人や乳母、移民や奴隷としてとして、多くの黒人やアジア人がイギリスにやってきました。約 50 名の男女の個人史と 80 点以上の印刷物を収録	
4	Sex and Gender Manuscript Sources 英国公文書館所蔵 女性の社会参加、参政権に関する文書集成	Part 1: Empire and Suffrage (AR, CAB, CO and DO Files) (18 リール)	The Public Record Office
5		Part 2: Empire and Suffrage (FO, HO, LAB, LO, PREM, T and WO Files) (18 リール)	
6	African and Colonial Journals 19~20 世紀アフリカの雑誌	Part 3: <i>Colonial Enterprise, Review of The Mines, Manufactures &amp; Industries of Greater Britain</i> , 1894-1899 (3 リール) アフリカのみならず、オーストラリア、英領コロンビア、カナダなどその他の英国植民地の状況をもカバーした雑誌。19 世紀末に発行され、採鉱シェアのリストが毎週 4 ページにわたって掲載されるとともに、製造業界のニュースや電気工学をはじめとする最新技術に関する報告なども記されていた。	

No	コレクション名	パート名(カッコ内はマイクロ版リール数)	原本所蔵機関
7	<p>Empire and Colonial Administration</p> <p>インド・オーストラリアの植民地統治者として活躍したラクラン・マクウォリーの文書集成</p>	<p>The Papers of Lachlan Macquarie (1762-1824)and Family (8 リール)</p> <p>ニュー・サウス・ウェールズを治めていた軍人マクウォリーの文書。1809年から1821年まで1787年から1824までのインド、エジプト、イギリス、ニュー・サウス・ウェールズ、ヴァンディーマンズランドに関する資料が収録されている。</p>	The State Library of New South Wales
8	<p>Convict Transportation and The Metropolis</p> <p>18世紀後期ロンドンにおける貿易・犯罪者輸送 関連資料集成</p>	<p>The Letterbooks and Papers of Duncan Campbell (1726-1803) (4 リール)</p> <p>ジャマイカ、ヴァージニア、オーストラリアへの囚人輸送に関わったダンカン・キャンベルの資料</p>	The State Library of New South Wales
9	<p>Australia: Colonial Life and Settlement</p> <p>The Colonial Secretary's Papers, 1788-1825</p>	<p>Part 1: Letters Sent, 1808-1825 (19 リール)</p> <p>統治者や彼の側近・植民地の秘書官らが、入植地内からイギリスやその他の植民地へ宛てた書簡を収録</p>	The State Records Authority of New South Wales
9	<p>オーストラリアのニュー・サウス・ウェールズ州立公文書館所蔵 オーストラリア植民地期関連資料集成</p>	<p>Part 2: Special Bundles (Topic Collections), Proclamations, Orders and Related Records, 1789-1825 (21 リール)</p> <p>ボイド号乗組員によるニュージーランド大虐殺、新国家発見と道路建設に関する Charles Throsby との書簡、孤児の公共施設に関する記録など、当時の行政上重要な事項の記録</p>	
10		<p>Part 3: Letters Received, 1788-1825 (32 リール)</p> <p>政府関係者や個人からの手紙を主に収録</p>	
11	<p>Plantation Life in The Caribbean</p> <p>ケンブリッジ大学図書館所蔵 ジャマイカにおける農園・奴隷制度に関する資料</p>	<p>Part 1: Jamaica, C1765-1848: The Taylor and Vanneck-Arcedekne Papers (17 リール)</p>	Cambridge University Library and The Institute of Commonwealth Studies, University of London



# Research Source とは

Research Source (リサーチ・ソース)は、Adam Matthew 社の膨大なマイクロフィルムのバックタイトルをもとに、800 万ページ以上もの一次資料をセレクトし、デジタルにて提供するものです。

リサーチ・ソースは、ルネサンス期の文学から 20 世紀の世界政治まで、広範囲にわたり、学生、研究者にとって有用な資料を、11のテーマ別モジュールに分けて提供します。

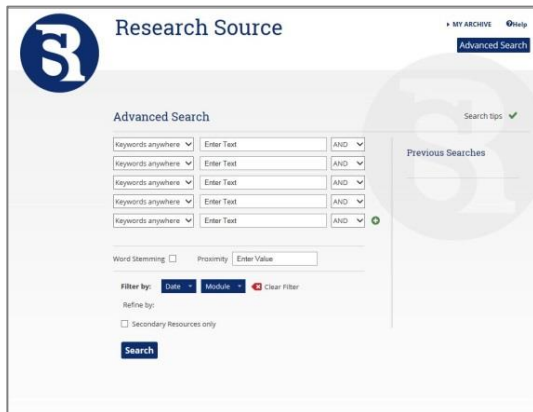
トップページ (Research Source)



各モジュールページ



詳細検索画面 (購入モジュール全点を横断検索)



資料の書誌情報表示画面



## Research Source (リサーチ・ソース)

### 2018 年刊行済みシリーズ

1. Area Studies: India
2. Area Studies: Japan
3. Area Studies: China and Southeast (中国における宣教資料も収録)
4. Church Missionary Society (聖公会宣教資料)

### 2019 年刊行済みシリーズ

5. Missionary Studies
6. Medieval and Early Modern Studies
7. Literary Studies
8. Empire Studies

### 2020 年刊行済みシリーズ

9. Women's Studies
10. World War Two Studies
11. Business, Economic and Labour History

## 資料文面表示画面 \*検索ワードはハイライトされます

